

幹線輸送で運送人員を 1/2、CO₂ 排出量▲32%を実現

- NEXT Logistics Japan 事業開始より 1 年 -

ドライバー不足によるモノが運べなくなる社会課題解決に向けて取り組みを加速

2020 年 12 月 23 日

NEXT Logistics Japan 株式会社

NEXT Logistics Japan 株式会社(本社:東京都新宿区、社長:梅村 幸生、以下 NLJ)は、2019 年 12 月の事業開始から 1 年が経過、幹線輸送の省人化・効率化により、運送人員*を 1/2 に、CO₂ 排出量を 32%削減することができました。これからもドライバー不足など物流における社会課題を解決するため、運送人員を 1/6 に、CO₂ 排出量ゼロを目標として、多種多様な荷物をベストマッチで混載するシステムや 25m フルトレーラーの活用など、更なる幹線輸送の効率化を目指します。

※ ドライバーや荷役など運送業務に直接かかわる人員

■これまでの事業総括

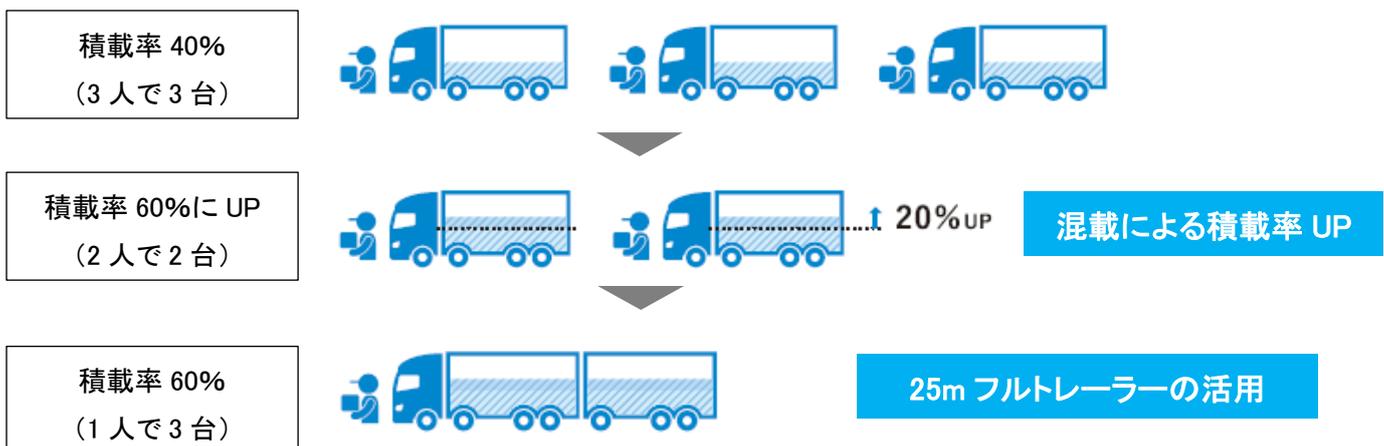
削減効果 (直近 3 か月実績)	フルトレ混載輸送	トラック(単車)輸送
運送人員	▲46% (306 人)	446 人
CO ₂ 排出量	▲32% (80.0t)	105.6t
輸送量/人 ※大型車積載率 40%換算	248% (2.5 台分)	100%

■1 年間の取り組み内容

1. 高効率輸送実現に向けた取り組み

1 台でより効率的に、より多くの荷物を運ぶために、各種ノウハウを活用し、安心・安全な物流環境整備や積載率向上を実現してまいりました

【NLJ コンセプト】



【取り組みご紹介】

➤積付技術開発:荷姿標準化、ボックスパレット・デッキラックの活用

➤段付きトレーラー開発:容積の最大化



➤物流効率化に向けた情報活用:ドライバー・荷物・車両情報の3つの情報を高度に活用

≪荷室の見える化≫

≪車両データ連携による運行状況把握≫

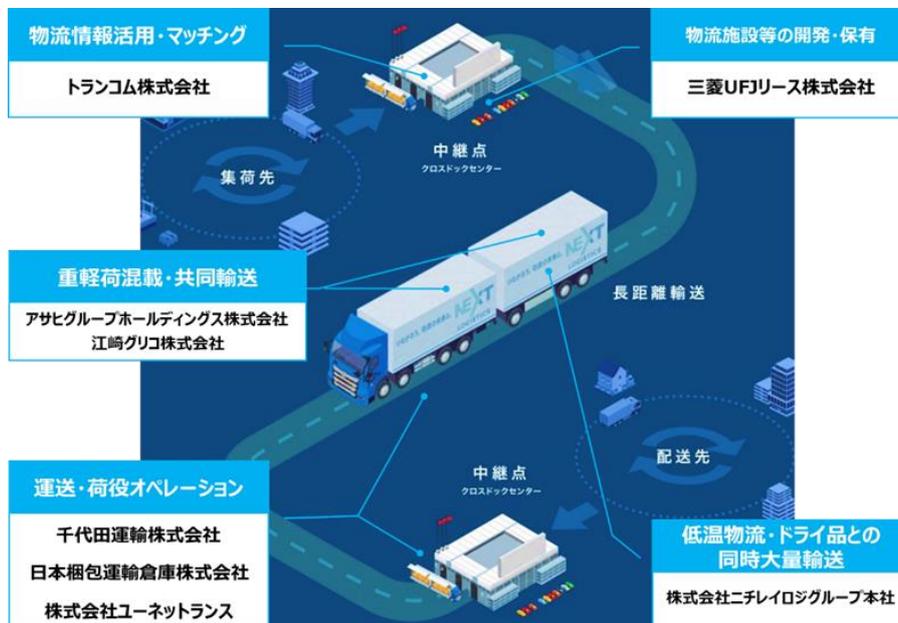
≪睡眠改善アプリ≫



積載率平均:56.9%(直近3か月平均)、最大:87.2% を実現

2. パートナー企業との歩み

8社のパートナー企業と、社会問題解決に向けた『想い』、ヒト/モノなどのリソースを共有しながら『共に学び』、NLJの仕組み・ノウハウを構築してまいりました。



社会課題解決への歩みはまだ始まったばかりです。NLJはあらゆる荷主企業・運送事業者にご利用いただけるオープンな物流の仕組みの確立を目指し、さまざまな実証やサービスの具現化などの取り組みを更に加速していきます。

<問い合わせ先>

NEXT Logistics Japan 株式会社 事業企画・管理部 TEL:03-6911-1691